

イノベーション・デザイン コース

Business Design for Social Innovation

企業の変革を推進するイノベーション・デザインリーダーの養成

～ 大きな社会課題に継続的に取り組むため、チームで事業を構想する課題ドリブン・イノベーションへ ～

「**善い目的**」を事業構想へ！
～ 社会課題を事業で解決 ～



~~~~~ 実施概要 ~~~~~

## 第11期生募集

- | 期間 | 2022年5月13日（金）～8月6日（土）
- | 日程 | 各回9：30～17：00 全16回（合宿2回含む）
- | 対象 | 中堅・若手リーダー
- | 会場 | 経営アカデミー：東京都千代田区丸の内1-6-2 新丸の内センタービル6階  
※一部講義はオンラインで行います
- | 切 | 2022年5月10日（火）\*事前課題がありますので早目のお申し込みをお勧めします

経営アカデミー  
WEB サイト

# 経営アカデミーとは

時代の変化を捉え、意識を変え、  
行動を変える学びの場

経営アカデミーは、1965年創設以来、絶えずテーマ、カリキュラム等を進化させながら長く支持されるビジネススクールとして、これまで15,000名を超える方々に受講いただきました。修了者には経営アカデミー・マスターの称号が与えられ、産業界のリーダーとして多方面で活躍されています。

※「経営アカデミー・マスター」称号(全日本能率連盟登録資格称号第14号)



「多視点で構想する力」「価値を実現する力」「主体的に革新する力」

この3つの力を兼ね備え、次代の経営を創っていくことのできるリーダー

## 経営アカデミーが目指す経営人材とは

現在は経営を取り巻く環境の複雑性が増し、想定外の出来事が次々起こり、将来予測が困難な環境にあります。急速な技術革新は、産業構造変化を加速させて脅威となるとともに、組織の生産性を高める機会ともみなされています。経営アカデミーは、このような大きな時代の変化の中で、自ら課題を設定し、仮説を立て、多様なステークホルダーを巻き込みながら、主体的に価値を創造していく行動力あるビジネスリーダーの養成を目指します。

## コースのねらい

1. 近未来の**社会問題**を解決できる形に**課題化**する
2. 思考の**バイアス**を確認し、課題を**再構成 (Re-Design)**する
3. 課題解決アイデアに**テクノロジー**を生かす
4. 事業としての**フック (魅力)**と**持続性 (収益力)**を**デザイン**する
5. **自分ごと**として考える

### 自ら変革する 強い想いを育てる



想いを育む

社会を変革する「**善い目的**」を持つ

### 本質を捉える 課題俯瞰力を鍛える



バイアスを崩す

課題の本質を捉え、**バイアス**を特定し、再構成する

### 課題解決に向けた 事業構想力を養う



想いを形に

プロトタイプでアイデアを見える化し、課題の本質に迫る



- ・自分の人生をかけて、会社で何をしたいか、何ができるかを考えるようになりました。
- ・高い視座を持ち、本質直感を信じ、思考を素早く何回も繰り返すことの大切さを学んだ。
- ・バックキャストिंग思考の重要性、社内バイアスから脱却することの大切さに気づかされた。
- ・大義の下、高い志を持ってアイデアを構想し戦略に落とし込んでいけばイノベーションを起こせることを実感した。
- ・一人称でビジョンを明確に語り、相手の心に響かせること、そして、諦めないこと。
- ・ビジネスは社会課題の解決に通じることを学んだ。自分が変わらなければ社会も変わらないとの心構えができた。



# 顧問、コーディネーター、講師陣

## 顧問

## プログラムコーディネーター 兼 チームメンター



**新貝 康司**  
日本たばこ産業(株)  
元代表取締役副社長



**小笠原 敦**  
国立大学法人滋賀医科大学  
バイオメディカル・イノベーションセンター  
特任教授、医学研究監理室長



**東 信和**  
(株)アイデアポイント  
取締役 CIO



**水谷 世希**  
(株)日立コンサルティング  
サービス&デジタルコンサルティング本部  
テクニカル ディレクター

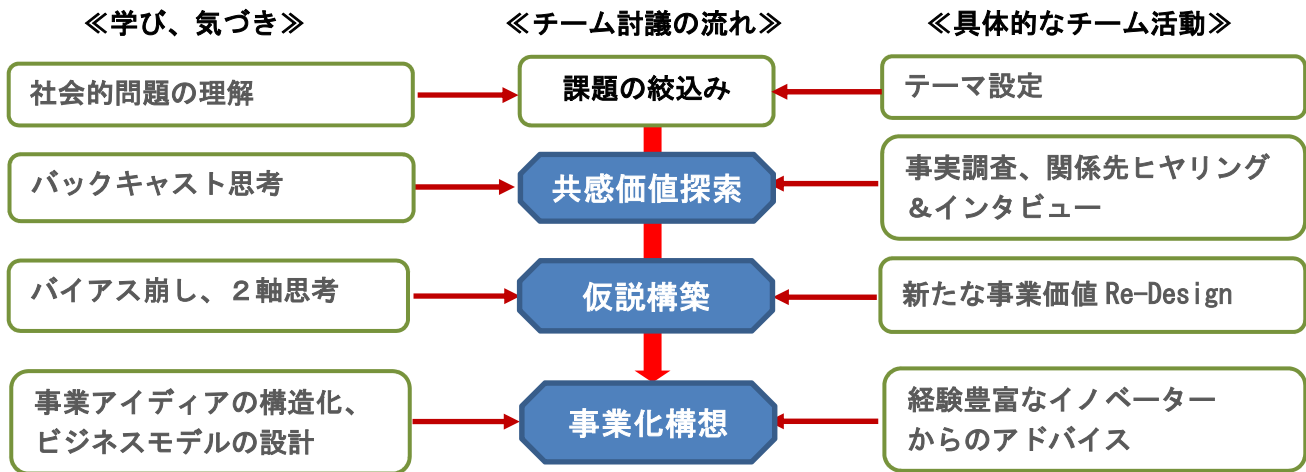


**中村 善貞**  
富士フィルム(株)  
先端コア技術研究所  
イノベーション アーキテクト

## これまでにご出講いただいた主な講師とテーマ

|             | ゲスト講師(所属・役職はご出講当時)              | テーマ                                                   |
|-------------|---------------------------------|-------------------------------------------------------|
| 善い目的を持つ     | 石田 秀輝 東北大学 名誉教授                 | 人間活動の肥大化がもたらす大問題に警鐘を鳴らすと共に、バックキャスト思考でライフスタイルを提案       |
|             | 野中郁次郎 一橋大学 名誉教授                 | 世界の経営者が注目する知識創造理論(SECIモデル)と実践知リーダーシップの6つの原則           |
|             | 岸田 一隆 青山学院大学教授、科学コミュニケーター       | 文明論的視座からのバックキャスト思考                                    |
|             | 丹羽宇一郎 元駐中国大使、元伊藤忠商事会長           | 人類と地球の大問題                                             |
| イノベーション思考法  | 濱口 秀司 デザイン会社 monogoto 代表        | USBの開発など120を超えるイノベーションを起こしてきた実践に基づく「イノベーションの作法」       |
|             | 東 信和 (株)アイデアポイント 取締役CIO         | JTたばこ事業部でイノベーション推進室を立ち上げ、アイデアを次々と創出してきた実践的イノベーションの思考法 |
|             | 前野 隆司 慶應義塾大学 SDM研究科 教授          | 現代社会が直面する諸問題をシステムとして俯瞰的に捉える幸せのメカニズム(幸せの4因子)           |
|             | 石黒 浩 大阪大学大学院基礎工学研究科 教授          | アンドロイドが当たり前前に社会に受け入れられ、定着していく社会は何が変わるのか、または変わらないのか    |
| デザイン視点      | 水谷 世希 (株)日立コンサルティング テクニカルディレクター | 想定される未来の諸問題からバックキャスト思考で課題を抽出するワークショップ                 |
|             | 原 研哉 (株)日本デザインセンター 代表取締役社長      | 日常を未知化し、Re-Design する思考実験                              |
|             | 各務 太郎 建築家、デザイナー                 | 「0⇒1」アイデア創出                                           |
|             | 村田 智明 (株)ハーズ実験デザイン研究所 代表        | ソーシャル・デザイン、行為のデザイン、バグ取り                               |
| 事業化と組織課題    | 小笠原 敦 国立大学法人滋賀医科大学 特任教授         | バリューチェーンに見る収益構造の変化は何を意味するか。サービスイノベーションの豊富な事例を通じた問題提起  |
|             | 岩田 徹 (株)アイデアポイント 代表取締役社長        | イノベーション・アイデアの事業化プロセス                                  |
|             | 野邊 義博 (株)ドリームインキュベータ 執行役員       | 如何にして連携するか、フック(事業の魅力)と回収エンジン(収益化構想)                   |
|             | 長沼 博之 (社法)ソーシャル・デザイン 代表理事       | 取引コストが限りなく通減していく時代のビジネスモデル                            |
|             | 新貝 康司 元日本たばこ産業(株)代表取締役副社長       | 大企業の両利き経営「深化と探索」                                      |
| イノベーション実践事例 | 中村 善貞 富士フィルム(株) イノベーションアーキテクト   | 富士フィルムの新規事業立ち上げ                                       |
|             | 出雲 充 (株)ユウグレナ 代表取締役社長           | ダボス会議で「ヤング・グローバル・リーダー」の一人に選ばれた出雲氏による、ミドリムシの事業化ストーリー   |
|             | 山崎 大祐 (株)マザーハウス 取締役副社長          | バングラディッシュから世界に向けてブランド発信しているマザーハウスの企業経営の考え方            |
|             | 山崎 敦義 (株)TBM 代表取締役社長            | 水を使わない石灰石素材LIMEXの事業化ストーリー                             |
|             | 田中 秀樹 (株)エルブズ 代表取締役社長           | 社会課題に AI と地域通貨で取組む                                    |
|             | 山田真次郎 (株)プランテックス 取締役会長          | 画期的な植物プラントで食糧問題に挑戦する                                  |

# プログラム概要



## 日程概要

2022年5月13日(金)～8月6日(土)

☆テーマの詳細及び講師は変更になる場合がございます。\* 日程表中、WSはワークショップ

| No. | 月 日                   |             | 9:30                                                                               | 12:30 | 13:30                                               | 17:00 |                       |
|-----|-----------------------|-------------|------------------------------------------------------------------------------------|-------|-----------------------------------------------------|-------|-----------------------|
| 1   | 2022年<br>5月13日<br>(金) | 経営アカ<br>デミー | 10:00 ~ 11:00/<br>開講オリエンテーション<br>* 自己紹介                                            |       | 12:00 ~ 14:15 / 14:30 ~                             | 17:00 | 交流会                   |
| 2   | 5月20日<br>(金)          | 経営アカ<br>デミー | 9:30 ~ 12:30<br>II ヒト・コト・モノの関係性を Re-Designする<br>「イノベーションの発想法(講義) / イノベーション発想法(WS)」 |       | 13:30 ~                                             | 17:00 |                       |
| 3   | 5月27日<br>(金)          | 合宿          | 9:30 ~ 12:00<br>I 善い目的を持つ<br>「チームの課題設定ワークショップ」                                     |       | 13:00 ~                                             | 17:00 | 交流会                   |
| 4   | 5月28日<br>(土)          |             | 9:00 ~ 12:00<br>テーマ研究②「テーマ設定討議」                                                    |       | 13:00 ~ 17:00<br>テーマ研究③「テーマ発表」&ヒヤリング先検討<br>コーディネーター |       |                       |
| 5   | 6月4日<br>(土)           | Online      | 9:30 ~ 12:30<br>III アイディアの事業化に向けて<br>「メガトレンドの読み方」                                  |       | 13:30 ~                                             | 17:00 | テーマ研究④                |
| 6   | 6月10日<br>(金)          | Online      | 9:30 ~ 12:30<br>II ヒト・コト・モノの関係性を Re-Designする<br>「0⇒1」のアイデア創出と実装                    |       | 13:30 ~                                             | 17:00 | テーマ研究⑤                |
| 7   | 6月17日<br>(金)          | Online      | 9:30 ~ 12:30<br>II ヒト・コト・モノの関係性を Re-Designする<br>「EUにおけるCEへの取組み」                    |       | 13:30 ~                                             | 17:00 | テーマ研究⑥                |
| 8   | 6月24日<br>(金)          | Online      | 9:30 ~ 12:30<br>III アイディアの事業化に向けて<br>「新規事業立ち上げ～イノベーションの実践」                         |       | 13:30 ~                                             | 17:00 | テーマ研究⑦                |
| 9   | 7月1日<br>(金)           | 合宿          | 10:30 ~ 12:30<br>II ヒト・コト・モノの関係性を Re-Designする<br>「テーマ深掘り」(WS)                      |       | 13:30 ~                                             | 17:00 | 交流会                   |
| 10  | 7月2日<br>(土)           |             | 9:00 ~ 12:00<br>テーマ研究⑨中間発表準備                                                       |       | 13:00 ~ 16:00<br>テーマ研究⑩「中間発表」                       |       |                       |
| 11  | 7月8日<br>(金)           | Online      | 9:30 ~ 12:00<br>IV イノベーションの実践<br>「食の未来と革新的植物工場の事業化」                                |       | 13:00 ~                                             | 17:00 | テーマ研究⑪                |
| 12  | 7月15日<br>(金)          | 経営アカ<br>デミー | 9:30 ~ 12:30<br>II ヒト・コト・モノの関係性を Re-Designする<br>「アイデアのバグトリ」                        |       | 13:30 ~                                             | 17:00 | テーマ研究⑫「アイデアのバグ取り」(WS) |
| 13  | 7月22日<br>(金)          | Online      | 9:30 ~ 12:00<br>III アイディアの事業化に向けて<br>「他社を巻き込む魅力作りと収益化構想」                           |       | 13:00 ~                                             | 17:00 | テーマ研究⑬                |
| 14  | 7月29日<br>(金)          | Online      | 9:30 ~ 12:00<br>I 善い目的を持つ<br>「大企業の両利き経営」                                           |       | 13:00 ~                                             | 17:00 | テーマ研究⑭                |
| 15  | 8月5日<br>(金)           | 経営アカ<br>デミー | 9:30 ~ 12:30<br>IV イノベーションの実践<br>「イノベーションと社内コミュニケーション&説得のプレゼン」                     |       | 13:30 ~                                             | 17:00 | テーマ研究⑮                |
| 16  | 8月6日<br>(土)           | 経営アカ<br>デミー | テーマ研究⑯「プレゼン準備」                                                                     |       | 13:00 ~ 17:00<br>最終発表会 / 修了式                        |       | 交流会                   |

注1：講義テーマ及び講師は変更になる場合もございます。ご承知おき願います。

注2：講義は一部を除き、原則オンラインで行います。

## チーム活動「問題発見から始まる学びの場」

- ☆「夢のあるアイデア」を実現性のある提案にするために
  1. より大きな視点で、事業アイデアの未来の可能性を広げておく
  2. 将来を見据えて、有用性のあるテクノロジーをアイデアに入れ込む
- ☆ 関心テーマの背景を正しく理解するために
  1. 関係先へのヒヤリングを行う
  2. 事実、データを確認し、バイアスを特定し再構成する
  3. バックキャストとフォアキャストの両面からのアプローチを繰り返す

## 第10期生 各チームのテーマと概要

### Aチーム：「人を耕し食の種をまく ～α世代から食育を。ロボットと共に～」

#### 〈問題認識〉

日本の食糧自給率は低い一方で、生鮮野菜や稲作を担う農家の減少は止まりません。また、大量の食品ロスを出しながら食生活の乱れを原因の1つとする糖尿病の医療費は高止まりしています。食育の必要性を痛感しています。

#### 〈事業アイデア〉

プランターで野菜の栽培をします。いつの間にか食、健康に関心が持てるようになる食育キットを貸し出します。子供は、遊び感覚で身近に野菜の生長と肥料や土壌、気温等の条件を観察することができ、食に関心を持つようになります。

### Bチーム：「『未来の自分』発見ガイド」

#### 〈問題認識〉

日本の子供は、OECD加盟国の中で最も孤独を感じメンタルに課題を抱えています。その原因は不在がちな親、将来の夢を持つような教育機会になく、独り家で過ごす時間が長いこと等が原因と思われる。

#### 〈事業アイデア〉

子供たちに「未来メガネ」を提案します。まずはバーチャル空間で様々な働く現場を体験します。関心のある仕事を直接見たり、体験することで自分の未来を想像するようになります。体験時の子供の表情や思考等をフィードバックします。

### Cチーム：「『ナガラグリカルチャー™』で、誰でもスマート農家」

#### 〈問題認識〉

都会にも潜在的に農業をしたい人がいます。一方で農業従事者の高齢化が進み、農業の担い手不足が懸念されています。

#### 〈事業アイデア〉

食材に拘る都会で働く人と農家を結びます。自分で育てる感覚で農家とコミュニケーションを取りながら旬の食材を得ることができます。将来的には田舎への移住サポートも事業化します。

## 《最優秀賞受賞》

### Dチーム：「セントラル0蔵庫 ～家庭の食品ロスゼロをめざして、食生活の新常識を～」

#### 〈問題認識〉

日本では、毎年、世界食糧援助の2倍の量に当たる600万トン以上の食品を廃棄処分しています。各家庭に冷蔵庫が普及し、つい食材を買い過ぎてしまうのもその一因です。

#### 〈事業アイデア〉

株式会社セントラル0蔵庫では、食材を一元管理することによって、その日必要な食材のみを自動配送します。さらに忙しいときは、下準備 or 調理済みを依頼して配送してもらうこともできます。食材容器はリターナブル、かつ洗浄、殺菌処理したものをご利用いただけます。

私たちは、食品ロス0をめざして、セントラル



**Central**

蔵庫をはじめます！

## これまでの参加企業、参加者データ(ご参考: \*社名五十音順、複数名参加の企業が多数あります。)

アサヒグループホールディングス、池上長寿園、出光興産、SAPジャパン、NTTドコモ、花王、カンダホールディングス、クボタ、ジーエルサイエンス、TOTO、JXTGホールディングス、高田香料、タダノ、凸版印刷、日清オイリオグループ、日東電工、日本たばこ産業、日本プラスト、日立製作所、日立ハイテクノロジーズ、藤倉化成、富士ソフト、富士フイルム、ブリヂストン、ヤマト運輸、雪印メグミルク、ライオン、リコー

## 参加者の声: 受講による意識の変化、行動変容(第10期生 受講アンケートより抜粋)

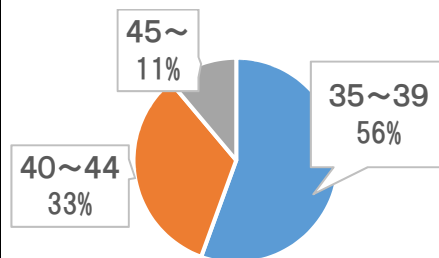
### 受講による意識変化、行動変容

受講後のアンケートでは、考え方、意識、行動が「大きく変わった」、「ある程度変わった」と回答いただいた方が100%に及びました。

|                |                                                                                                                           |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Yさん<br>ヤマト運輸   | アイデアを具現化して商品・サービスに落とし込む過程はとても勉強になりました。特に「バックキャスト思考」や「上司に Yes と言わせるための資料構成や話し方」の部分は、早速実用させていただいています。                       |
| Wさん<br>雪印メグミルク | ・SDGsに関する社会課題の解決は待たなしということ。普段の個人業務でも常に意識するようになりました。・自分の部署や業務において新しい事を始められるのか、始めるには何が必要なのか、まだ自分の頭の中の構想に過ぎませんが、考えるようになりました。 |
| Mさん<br>花王      | 物事を俯瞰して考え、1つの仮説や結論を導き出す力を伸ばすことができた。地球、社会、組織、人といった様々な階層において、本質的な課題とその解決策を想起していく立場として、世の中に貢献していきたい。                         |
| Oさん<br>日立製作所   | 世の中で起きている環境の変化に驚くばかりで、日頃からSDGsに関する情報を取り入れるようになった。また、良し悪しの判断基準となっており、個人の意識を変えることが第一歩であることも痛感した。                            |
| Uさん<br>ライオン    | 社会課題に対しては、より感度高く情報収集するようになりました。現業でも大きく影響するところであり、社会課題起点でのイノベーション創出、是非、挑戦していきたいと考えております。                                   |

### 参加者データ(過去3年平均)

平均年齢 40歳

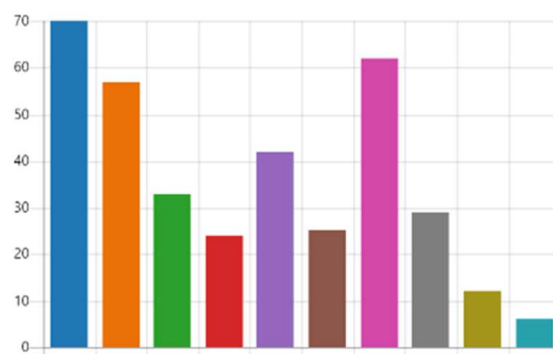


### 修了者の受講後の取組み (2013年度~2021年度修了者)

2021年8月アンケート調査実施  
回答者数 104名 / 修了者 211名

- ・70%: 新規事業、新製品開発に取り組みんでいます
- ・62%: 学びを部下育成、指導に活かしています
- ・42%: 部門横断プロジェクトに参加しています

|                      |    |
|----------------------|----|
| ● 新規事業・製品開発の企画、検討    | 70 |
| ● 新規事業・製品開発提案        | 57 |
| ● 新規事業・製品開発実施        | 33 |
| ● 社内の改革提案            | 24 |
| ● 社内の部門横断プロジェクト      | 42 |
| ● 社内勉強会              | 25 |
| ● 部下の育成、指導           | 62 |
| ● 外部リソースの活用(オープンノ... | 29 |
| ● 社内、社外でのセミナー実施      | 12 |
| ● その他                | 6  |



## お申込み要領

### 【お申込み手順】

- 01 お問合せ WEB ページ (<https://www.k-academy.jp/>) のコース案内に「申込」欄がございます。
- 02 申込受領後、確認のご連絡を申し上げます。

### 【参加費】(2022年度)

|      |                      |
|------|----------------------|
| 賛助会員 | 67万円(10%税込参加費73.7万円) |
| 一般   | 77万円(10%税込参加費84.7万円) |

\* 参加費に含まれるもの  
合宿費(1泊2日、2回)、課題図書費(参考図書を除く)



# 経営アカデミー コース一覧



経営アカデミーとは、1965年に産業界の発意と学界の協力により創設された我が国で最初の本格的な経営大学院です。当アカデミーを修了された方々は15,000名を超え、産業界のリーダーとして活躍しています。

## マネジメント・リーダー養成

| コース名            | 実施期間                | 主な対象者                      | コースの目的                                 | 参加費( )内10%税込       |                    |
|-----------------|---------------------|----------------------------|----------------------------------------|--------------------|--------------------|
|                 |                     |                            |                                        | 賛助会員               | 一般                 |
| トップマネジメント・コース   | 2022年7月~12月         | 取締役、執行役員、事業部長、部長           | 戦略思考に基づいたビジョンを語り、先頭に立って実践できるトップリーダーの養成 | 120万円<br>(132万円)   | 130万円<br>(143万円)   |
| 経営戦略コース         | 2022年6月~<br>2023年3月 | 部長、課長(全職種)                 | 自社ビジネスのあり方を見直し、次の戦略を深く多面的に考えるリーダーの養成   | 111万円<br>(122.1万円) | 121万円<br>(133.1万円) |
| 技術経営コース         | 2022年6月~<br>2023年2月 | 技術部門、研究・開発部門の部長・課長・リーダー    | CTO目線で技術を価値化するリーダーの養成                  | 111万円<br>(122.1万円) | 121万円<br>(133.1万円) |
| 組織変革とリーダーシップコース | 2022年6月~<br>2023年2月 | 部・課・プロジェクトチーム等の組織運営を行うリーダー | 人・組織・戦略の視点で組織変革を推進できる次世代リーダーの養成        | 98万円<br>(107.8万円)  | 108万円<br>(118.8万円) |

## プロフェッショナル・リーダー養成

| コース名          | 実施期間                | 主な対象者                             | コースの目的                                            | 参加費( )内10%税込      |                    |
|---------------|---------------------|-----------------------------------|---------------------------------------------------|-------------------|--------------------|
|               |                     |                                   |                                                   | 賛助会員              | 一般                 |
| マーケティング戦略コース  | 2022年6月~<br>2023年2月 | マーケティング、営業部門の部長、課長、リーダー、戦略スタッフ    | 先見性・革新性・戦略性で成熟市場を打ち破るマーケティングの養成                   | 98万円<br>(107.8万円) | 108万円<br>(118.8万円) |
| 生産革新マネジメントコース | 2022年6月~<br>2023年2月 | 生産関連部門(製造、生産管理、品質、調達等)のマネジャー、リーダー | 経営と現場の視点で、ありたい姿を描き「強い工場」をつくる人材の養成                 | 98万円<br>(107.8万円) | 108万円<br>(118.8万円) |
| 人事革新コース       | 2022年6月~<br>2023年2月 | 人事部・人材開発部門のマネジャー、リーダー、戦略スタッフ      | 人材マネジメントに革新を起こし、世界で競争力のある強い組織創りをリードする戦略的人事リーダーの養成 | 98万円<br>(107.8万円) | 108万円<br>(118.8万円) |
| 経営財務コース       | 2022年6月~12月         | 経理や財務、経営管理等の業務経験が5年以上の方           | 経理・財務・IRを横断できるコーポレートリーダーの養成                       | 98万円<br>(107.8万円) | 108万円<br>(118.8万円) |

## イノベーション・リーダー養成

| コース名            | 実施期間        | 主な対象者                            | コースの目的                         | 参加費( )内10%税込       |                    |
|-----------------|-------------|----------------------------------|--------------------------------|--------------------|--------------------|
|                 |             |                                  |                                | 賛助会員               | 一般                 |
| 事業変革イノベーションコース  | 2022年6月~12月 | 事業責任者、企画・グループ管理・監査部門等の責任者、戦略スタッフ | トップや現場を巻き込みながら変革に進進する中核リーダーの養成 | 125万円<br>(137.5万円) | 135万円<br>(148.5万円) |
| イノベーション・デザインコース | 2022年5月~7月  | 中堅・若手リーダー                        | 企業で未来を変革するイノベーション・デザインリーダーの養成  | 67万円<br>(73.7万円)   | 77万円<br>(84.7万円)   |

※参加費に含まれないもの  
 国内合宿費 / 1回当たり5~8万円程度 (経営財務コースは合宿費のほかにビジネスゲーム使用料1万円程度)  
 海外調査費 / トップマネジメント・コース...40万円程度、人事革新コース、生産革新マネジメントコース...30~35万円程度  
 丸の内教室通学・合宿・企業見学・インタビュ等々の交通費、グループ研究の図書・資料代、その他、個別的・追加的に発生する費用  
 ※参加費、その他費用は2022年度の予定金額

## お問い合わせ先

経営 k-academy

経営アカデミー 公益財団法人日本生産性本部 経営アカデミー

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-6-2 新丸の内センタービル6階

Mail : academy\_info@jpc-net.jp Web : <https://www.k-academy.jp/>

Tel : 03-5221-8455 Fax : 03-5221-8479

お問い合わせフォームはこちら <https://www.k-academy.jp/inquiry/>

賛助会員制度につきましては、下記までお気軽にお問い合わせください。

会員サービスセンター : 03-3511-4026

